

OFFICIAL MATCH DAY PROGRAM

発行：関西学生サッカー連盟
2009年10月3日発行 第12号

JUFA Kansai

第87回関西学生サッカーリーグ
2009年10月3日(土)・4日(日) 後期3節

関西学生サッカーリーグ 後期 第3節

貴重な得点で首位浮上！

写真：宇城 康太（同大）



第2節 同大-京産大より

Photo: UNN関西学生報道連盟

リーグは大混戦！上位6チームと、下位6チームがそれぞれ勝点僅差で並ぶ状態に……。同勝点同士の試合もあり、1試合で形勢が変わる可能性も!? 今節の戦いにも注目だ。

■10月3日(土) @山城総合運動公園太陽が丘陸上競技場

《第1試合》11:30 Kick off 立命大-関西大

後期・第3節にして、順位・勝ち点で並ぶ関西大、立命大が対決。「絶対落とせない重要な試合。いい試合をしたい」とMF⑧福本尚純主将。立命大は早くも大一番を迎える。対する関西大、学生リーグの後には、天皇杯のJ2甲府戦もあるが、島岡健太監督は、「全部が1つの流れ。そして全部勝ちに行きます」と力強く断言。勝ち点を伸ばすのはどちらか？

※14:00から開催を予定しておりました「同大-大院大」の試合は新型インフルエンザの関係で延期となりました。延期後の日程は未定。当連盟公式ホームページ等で決定次第お伝えいたします。

■10月3日(土) @山城総合運動公園太陽が丘球技場B

《第1試合》11:30 Kick off びわこ大-大産大

びわこ大は後期、連敗スタート。しかし、望月聡監督は「急には体力や技術は上がらない。インテリジェンスを高めてゆければ」と考えるサッカーで挽回を狙う。一方、大産大・櫛引実監督は「前節、最後に1点返せたのは、今日の試合につながる点」と関学戦を評価。同じく2連敗中のびわこ大から勝利を勝ち取ることが出来るか。

《第2試合》14:00 Kick off 関学大-京産大

後期開幕2連勝で2位をキープしている関学大。ゲームキャプテンDF④志田野雄一朗は「自分たちのサッカーをして、失点をしないこと」と守備の意識を強く語った。この勢いで3連勝なるか。京産大・古井裕之監督は「開幕戦で勝てたことで、気持ちが緩んでしまっていた。そこから立て直していかないと」と精神面の切り替えを強調した。関学大相手にどう戦うか。

■10月4日(日) @大阪長居第2陸上競技場

《第1試合》11:30 Kick off 阪南大-大体大

びわこ大戦で攻守に大活躍した阪南大⑥井手口正昭だが、「連勝は大きい。まずはキッチリ守備から入りたい」と冷静に語る。一方、上り調子の大体大・北村公紀ヘッドコーチは「阪南大の良さを封じるDFをしていきたい」と、まずは課題の守備からという姿勢を強調する。前期は接戦のこのカード、後期は如何に。

《第2試合》14:00 Kick off 桃山大-大教大

まさかの開幕2連敗となった桃山大・松本直也監督は、大教大について「大体大と同じように縦に速くて頑張るチーム。厳しい戦いになる」と警戒する。しっかりプランを持って戦えるかが鍵だ。対するのは現在 最下位に沈む大教大。「ここまで試合内容は悪くない。ただ終わり方がよくないので立て直したい」と入口豊監督は話す。初勝利で巻き返しを図りたい。

阪南大学 vs びわこ成蹊スポーツ大学

試合前から、阪南大の須佐徹太郎監督の顔は曇りがち。「メンバーが揃わない」との言葉通り、なかなかスタメンを固定出来ていない。特にFW。昨年の優勝に貢献した選手や、前期に結果を出した選手も故障などで離脱。この試合はワントップで臨む事となった。

対するびわこ大の望月聡監督に、前節の関西大戦での完敗について質問すると、「私は少し引きずっているかも知れないけど、選手はスグに切り替え完了しているので心配ありませんよ」と笑顔で返答があった。

試合は、キックオフから流れがびわこ大に傾いたと思えば、阪南大が取り戻すという展開ながら、ビッグチャンスまでは生まれない。双方が守備重視をしたわけではないだろうが、シュート数も少なく、スコアレスで前半を終える。後半、加速したのは阪南大だった。FWは人手不足だが、守備はほぼ固定されたメンバーで戦えている。特に⑥井手口正昭と⑧長瀬圭佑のダブルボランチの安定感は抜群。井手口がピッチの横幅をしっかりとカバーし、長瀬は相手の飛び出しなどに対応。そして奪ったボールをフリーの味方にシンプルに繋ぐ。このボランチの力でゲームが動いたと言って過言ではない。先制点は、びわこ大の守備の連係ミスでFW⑬細野元伸が見逃さずに突いた。これで気持ちにゆとりが出来た阪南大は終始ゲームを支配し、78分にはMF 28 谷本泰基が鮮やかなドリブルで相手を切り裂き追加点。阪南は苦しい戦力の中、しっかりと連勝を飾った。(文：サッカーライター ハヤシ ヒロヒサ)

阪南大 2 - 0 びわこ大

■9月26日(土) 11:30 kick off

@山城総合運動公園太陽が丘球技場B

◆得点(アシスト)◆

阪南大 65分 13 細野 元伸

阪南大 78分 28 谷本 泰基(17 永岩 貞亮)

関西大学 vs 大阪学院大学

関西大 2 - 0 大院大

■9月26日(土) 14:00 kick off

@山城総合運動公園太陽が丘球技場B

◆得点(アシスト)◆

関西大 62分 8 藤澤 典隆(7 佐藤 悠希)

関西大 76分 5 平野 史明(5 田中 雄大)

夏場から何度か関西大の選手・スタッフにインタビューをする機会を得ているが、常に変わらない言葉が返ってくる。「天皇杯日本一・学生日本一」。その意識は全員に徹底されており、ストイックな程である。試合前の島岡健太監督も「この試合も自分たちらしく」。確かに現在の関西リーグにおいて、全試合自分たちらしく押し切れるのは関西大だけ。大院大の藤原義三監督も「どこまで耐えられるか」と本音を吐露してくれた。对学生、対社会人に関係なく、ここ数試合の関西大の公式戦における爆発力は凄まじい。多様な攻撃パターンと堅守。一時期はあまりオーバーラップをしなかった両SBも積極的に攻撃参加するようになってきている。そのため、この試合のヒーローは、大院大のGK①古矢光宏になってしまった。関西大の前半5度の決定機をスーパーセーブでしのぐ。後半も含めると2本は超の付くくらいのスーパーセーブだった。

関西大はこの試合、エースストライカーの⑩金園英学がボールが入らないとみるや、その後方からFW⑦佐藤悠希、MF⑧藤澤典隆、そして途中出場の25岡崎建哉がトップを追い抜いて攻撃を仕掛け続けた。62分の先制点は多少運に恵まれたものの、ゴール前に詰めていた藤澤がゲット。トドメはセットプレーに圧倒的に強いDF⑤平野史明がヘッドで決めた。本当に、関西大の強さが際立っていた。

(文：サッカーライター ハヤシ ヒロヒサ)

立命館大学 vs 大阪教育大学

立命大と大教大の順位差は大きく開いているものの、前半の試合内容は互角以上。立命大は前半のシュート数0と、大教大が人数を掛けてしっかり守備しFW陣にボールを触らせなかった。大教大は、中盤の選手たちがこぼれ球を狙い積極的にシュートを放つ。後半も変わらぬ展開が続いたが、この試合、両チームともに激しい競り合いからセットプレーの機会を多く得ており、立命大がそれをものにする。76分にDF⑤前野貴徳が低く蹴ったFKにDF⑬渡部寛が合わせ、2戦連続弾。ここまではDF⑤大久保悟、DF⑥山本翔太らを中心に集中して厳しくマークし抑えていた大教大だったが、やはり先制点が大きく響いた。終了間際はJ2フェジアーノ岡山へ入団が内定した主将・MF⑧福本尚純、交代で入ったFW⑧伊藤了が立て続けにゴール。結果、3-0で立命大が2連勝を収めた。

恐ろしいまでに狙いすました立命大の戦いぶりはさすがに上位に食い込んでいるだけのことにはある。大教大は「セットプレーは最初から警戒していたが、最後は集中力が切れてしまった」と主将・大久保。今年の立命大は、厳しい試合でもワンチャンスをもつに力を使っている。

(文：フリーライター 久住 真穂)

立命大 3 - 0 大教大

■9月26日(土) 11:30 kick off

@西京極総合運動公園補助競技場

◆得点(アシスト)◆

立命大 76分 15 渡部 寛(5 前野 貴徳)

立命大 89分 8 福本 尚純

立命大 89分 18 伊藤了(8 福本 尚純)

関西学院大学 vs 大阪産業大学

関学大が絶好調だ。エースMF⑩阿部浩之、今年さらなる成長を遂げた⑧梶川諒太。「常に諒太の動きを視野に入れてます」と阿部の言葉にあるように、息の合った2回生コンビを軸に両サイドでバランスを取りながら攻撃が組み立てられ、セットプレーではCB2人の高さも加わる。トップもFW⑨村井匠が何度もドリブルでペナルティエリア内に仕掛けていくなど、攻撃も多彩。守備は④志田野雄一朗・⑤飯田洋介と鉄壁を誇り、安定した戦いを見せている。前期は怪我に泣いた阿部も、この試合、自身のゴールを含め3得点全てに絡み、復調をアピール。また、4回生MF⑫村上達哉が阿部からの絶妙なパスを受け、2ゴールを記録した。

大産大はカウンターからFW⑨西之宮慎司に当て、そこへFW⑬西原周平が走り込む形を繰り返していたが、ゴールへ結びつかなかった。櫛引実監督は「チーム力としてまだまだ足りない」と肩を落とした。試合終了直前、CKを大産大MF⑩橘章斗が決め3-1。関学大は最後の失点を除いては、ほぼ完璧な勝利だった。「あの失点は最終節でインカレ出場を左右するかもしれない」とDF④志田野雄一朗は警戒。最後の1点、大産大が意地を見せた。

(文：フリーライター 久住 真穂)

関学大 **大産大**
3 - 1

■9月26日(土) 14:00 kick off
@西京極総合運動公園補助競技場

◆得点(アシスト)◆
関学大 23分 19 阿部 浩之(11 原田 雅史)
関学大 74分 12 村上 達哉(19 阿部 浩之)
関学大 86分 12 村上 達哉
(19 阿部 浩之・29 持田 和明)
大産大 89分 10 橘 章斗

同志社大学 vs 京都産業大学

同大 **京産大**
1 - 0

■9月27日(日) 11:30 kick off
@山城総合運動公園太陽が丘陸上競技場

◀◆得点(アシスト)◆
同大 56分 4 宇城 康太

後期開幕戦で勝利し、ついに首位に躍り出た同大。対するは、前期首位の桃山大を倒し、今年も後期躍進の兆しが見えた京産大。試合は後半から動き始める。同大のサイドを広く使った攻撃が機能し始め、左サイドからDF②林佳祐、MF⑧荒堀謙次などが絡み京産大DFに襲いかかる。そして56分、左から逆サイド奥へのサイドチェンジが起点となり、混戦からDF④宇城康太が決めてついに先制。その後もMF⑦楠神順平が圧倒的な技術で京産大を切り裂くなど、チャンスを作り続ける。一方の京産大は中盤が前にボールを運べず、安易なロングボール中心の攻撃を繰り返していたが、終盤に主将のMF⑧金本竜市を投入するなどし、ようやく同大ゴールに迫り始める。82分にはMF⑦稲本悠人が惜しいシュートを打つが、これは同大GK①川原隆広がキャッチ。更にMF⑥市川恭平が、カウンターから持ち味のアーリークロスを上げるが、これも中で合わせることができず、万事休す。同大が逃げ切りに成功した。

同大の望月慎之監督は「サイドを広く使えていたし、セカンドボールも拾っていた」と手応えを口にする。対照的に京産大の古井裕之監督は「中盤の枚数の多さを攻守両面で生かせなかった。プレスは緩いし、パスも出せていない」と狙った戦い方ができなかったことを悔やんだ。
(文：京産大アスレチック 谷口 達也)

桃山学院大学 vs 大阪体育大学

後期1節を終えて最下位に沈む大体大だが、今年取り組んできた守備面のトレーニングが効果を発揮してきたことに加え、怪我で戦列を離れていたFW⑩川西翔太が復帰し「雰囲気が変わった」と北村公紀ヘッドコーチが語るように、一気に躍動し始める。桃山大は徹底してFW⑪齊藤達也、FW⑬須ノ又諭の2トップをDFラインの裏に走らせてくるが、素早い対処で封じ込め、11分と22分にカウンターで中央の川西から右サイドを駆け上がったMF⑧村田和哉に出す形で続けざまにゴールネットを揺らす。

後半に入ると桃山大が勢いを盛り返し、57分にDF②中山修志のCKから、こぼれたところをDF⑬須ノ又諭が決めて反撃の狼煙を上げる。更に直後にも惜しいシーンを作るが、大体大の1回生GK 41森廣泰彦の好セーブに阻まれ追いつくことができない。すると流れは再び大体大に傾き始め、ついに81分、村田の右からのクロスをFW⑩山本翔一が頭で合わせてダメ押し点。堅実な守備を起点とした攻撃から、村田が2得点1アシスト、川西が2アシストと、大黒柱の活躍で大体大が勝利を取めた。北村ヘッドコーチが「前節から2週間開いて守備が良くなった。点は取れるから守備が良ければ上を目指せる」と手応えを感じる一方、桃山大・松本直也監督は「シュートは多かったが決められない。チャンスを失った後に中途半端なプレーでやられてしまった」と厳しい表情を見せた。(文：京産大アスレチック 谷口 達也)

桃山大 **大体大**
1 - 3

■9月27日(日) 14:00 kick off
@山城総合運動公園太陽が丘陸上競技場

◆得点(アシスト)◆
大体大 11分 8 村田 和哉(10 川西 翔太)
大体大 22分 8 村田 和哉(10 川西 翔太)
桃山大 57分 18 須ノ又 諭
(2 中山 修志・30 中嶋 亮)
大体大 81分 11 山本 翔一(8 村田 和哉)